

ふるさとの風だより

防災特集号
No.3

令和8年1月



第二地区まちづくり協議会会誌

市の防災訓練に併せて第二地区防災訓練を実施しました



新年あけましておめでとうございます。

昨年10月26日（日）、市の防災訓練に併せて、第二地区においても120名の参加者のもとに防災訓練を実施しました。テーマは、「避難所の開設」。大地震がおこり、第一次避難所である第二小学校の体育館へ避難して来た人たち自らが「避難所を開設する」という設定での訓練です。

参加者の皆さんには、避難者の受付、体育館の避難者スペースのレイアウト、プライベートルームの組み立て、さらには避難所生活で最も必要となるトイレについて、体験をして頂きました。

この防災特集号では、参加出来なかった地域の皆さんにも、当日の訓練の様子と訓練のテーマとなつた大切なノウハウについて知っていただきたく、その内容を取り上げています。

災害発生時の被害軽減に少しでもお役に立てれば幸いです。



避難所は、避難者自らが開設することになっています。



「防災訓練」の内容



1. 地震自動解錠ボックス



「避難所」を開設するために必要な「松阪市防災倉庫」と「第二小学校の体育館」の中に入っています。このボックスは、「震度5弱で自動的に開錠」され、誰でも「鍵」を取り出すことができるようになります。

2. 避難所「初期開設」の仕方

「防災倉庫」を開けると「初期開設BOX」と書かれたボックスの中に「避難所開設手順書」が入っています。避難所を開設するために一番最初に行なうことは、「体育館の安全確認」です。

体育館には、ガラスが散らばっていたり、建物が倒壊する恐れがあります。まずは、「防災倉庫」内に入っている「開設手順書」の「安全確認チェックシート」を使って、安全を確認して下さい。安全が確認できなければ、避難所を開設すること自体ができません。



【外部の安全確認チェックリスト】		【内部の安全確認チェックリスト】	
1: 建物は倒壊していないか?	<input type="checkbox"/> 明らか	1: 天井や照明が落下していないか?	<input type="checkbox"/> なし
2: 窓は割れたり壊れたりしていないか?	<input type="checkbox"/> 割れたり壊れたりしていない	2: 窓ガラス、ドアは壊れていないか?	<input type="checkbox"/> なし
3: 外壁は大きな落書きや剥離していないか?	<input type="checkbox"/> 大きな落書きや剥離していない	3: 建物内の散乱状況は?	<input type="checkbox"/> 散乱していない <input type="checkbox"/> なし
■ 清掃が必要 <input type="checkbox"/> なし			

安全確認チェックシートの例

3. 「レイアウト」訓練



「レイアウト」とは、避難者を安全に区分けるため、体育館内に「避難スペース」を確保する作業のことです。

「緑色のシート」を舞台の下から出し、体育館の四隅と中央に敷いて通路をつくりました。この作業を通じて、利用可能スペースが限られた中で、避難所開設時にどの様な方にどのエリアを割り当てるかなど、臨機応変な対応が必要であることが判りました。

4. 「避難者受付デスク」の設置訓練



避難者の人数や状態を把握するには、極めて大切なことです。そこで、避難者に「簡易避難者カード」を書いて頂き、「受付」で採番する訓練を行いました。

今回、120名の参加者全員に「簡易避難者カード」を書いて頂きましたが、受付係の人数が少なく、様々な対応に苦慮致しました。

「受付」のスムーズな対応には、十分な人員の配置が必要なことが判りました。

5. 「プライベートルーム」の組み立てと設置

避難所といえども、最低限のプライバシーの確保は大切なことです。

高齢者、障害者、乳幼児、妊産婦などの要配慮者の様々な個別のご事情への対応や着替え時における隔離空間を確保するためのプライベートルーム（室内テント）の組み立てと設置体験を行いました。

※表紙写真も参考にして下さい



6. 「簡易トイレ」の設置と使い方

今回の訓練では、断水と下水道が使用出来ない想定で「簡易トイレ」の組み立てと排便収納袋、凝固剤の使用について訓練を行いました。

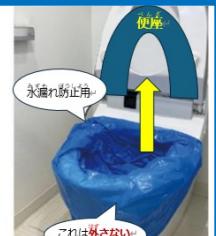


「簡易トイレ」は、避難所だけでなく、家庭でも「使い方」を知っておけば、非常に役に立つアイテムです。

体験だけでなく、家庭で使える「リーフレット」も配布しました

避難所のトイレは、全員で正しく使用することが、感染予防につながります。ストレスなく使用できる状態に保つことが何よりも大切です。

01/
便器に袋をかぶせ、
この状態にしておく。
(この袋は外さない)
最初にこの状態を作りおく



02/
準備した汚物袋(黒)を
便座の上にかぶせる
凝固剤をふりかける
凝固剤を入れるタイミングは、製品により異なる



03/
汚物袋(黒)の空気を抜いて
取り出し、しっかり口を結ぶ
【指定場所に捨てる】



訓練参加者のアンケート結果と今後の取組みについて

今回、防災訓練に参加された120名の皆様の内、92名の方からアンケートの回答をいただきました。この結果に基づき、訓練の成果と課題をまとめました。

訓練の成果【良かった点】

8割以上



参加者の8割以上が
内容を理解



高い参加満足度

「訓練に参加して良かった」という
肯定的な意見が多く寄せられました。

評価「5」十分理解～「3」普通
の回答者が大半を占める



防災意識の向上に貢献

「家族と話したい」「自分の事は自分で守
る」など意識の高まりを示す声がありました

今後の取組み

- ①「訓練手順の説明の仕方」②「受付訓練」③「レイアウト訓練」④「高齢参加者への配慮」他

今後の課題【改善点】

主なコメント

説明の紙が
見えない 12件

レイアウト
が分らない 3件

受付が分らない 2件

立っている
のが辛い 2件



情報伝達方法の改善が急務

「説明の紙が見えにくい」とい
う意見が最も多く、ありました。



受付

レイアウト

「受付」と「レイアウト」の
理解度が低い

一度の訓練では難しく、繰り返し訓練
が必要だという声もありました。



高齢者への
配慮不足

「立っているのが
辛い」という意見

今後の防災の取組について



今後も大地震の発生を前提とした防災訓練や講習会を計画していきます。

講習会では、地域住民の方に関心を持って頂ける題材を選定し、受講者の参加実績や防災スキル見える化するなどの効果をねらった仕組みづくりを進めていきますので、ぜひご参加ください。

防災講習会の予定 2026年2月14日（土）午後 演題：災害時のトイレ事情について

講師：三浦洋子さん（防災ボランティア春告鳥 代表）※詳細は、後日ご案内します。

今年度の防災訓練・防災講習会の実績と計画

2025.01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	2026.01	02	03
講習会 ⇒	①防災講習会 2/22実施											②防災講習会 2/14開催予定		
防災訓練 ⇒		①神戸合同防災訓練 5/17実施(2年/回)						②松阪市総合防災訓練 10/26実施						
防災特集号発行 ⇒	●第1号 3/1発行			●第2号 9/1発行			●第3号 1/1発行		●第4号 3/1発行予定					



発行 第二地区まちづくり協議会 / 第二公民館

電話 0598-20-8402（協議会）
0598-23-6107（公民館）

FAX 0598-23-2184（共通）

URL <http://dai2.life.coocan.jp/>

